



图书基本信息



内容概要

日本後紀（にほんこうき）は、平安時代初期に編纂された勅撰史書で、続日本紀に続く六国史の第三にあたる。

承和7年（840年）に完成し、延暦11年（792年）から天長10年（833年）に至る42年間を記す。

編者は藤原緒嗣ら。

編年体、漢文、全40巻（現存10巻）。

続日本後紀（しよくにほんこうき）は、日本の平安時代の869年に成立された歴史書で、六国史の第四にあたる。

仁明天皇の代、天長10年（833年）から嘉祥3年（850年）までの18年間を扱う。

文徳天皇の勅命により斉衡2年（855年）編纂が開始され、貞観11年（869年）に完成した。

天皇の動静の記録を詳述し天皇親政から摂関政治へうつる時代の根本史料である。

編年体全二十巻からなる。

日本文徳天皇実録（にほんもんとくてんのうじつろく）は、平安時代の日本で編纂された歴史書で、六国史の第五にあたる。

文徳天皇の代、嘉祥3年（850年）から天安2年（858年）までの8年間を扱う。

略して文徳実録ともいう。

編年体、漢文、全10巻。



版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>